



すえ ギャラリー陶 リニューアルオープン

温かい雰囲気的空間に
各窯元で生まれた器が集う

日 本の伝統工芸のひとつである陶芸。「春の陶器祭り」や「秋の窯開き」では多くの陶芸ファンが上野の里を訪れます。そんな中、今年4月に上野焼陶芸館内の一角に「ギャラリー陶」がリニューアルオープンしました。陶芸館への行き来が楽になり、居心地のよい場所として再開したギャラリー陶。四季折々の陶器を楽しめる企画展示など、年間を通して様々な企画展示会を行っていきます。その他にも、期間限定でベテラン講師が教えてくれる作陶体験や上野焼の歴史や特徴が学べるPR動画の上映など目白押し。上野焼の魅力を堪能できる「ギャラリー陶」に、ぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか。

ギャラリー陶は、企画展など使用していない日に限り、貸出しを行っています。町内外問わず利用でき、町民のかたは1日1000円、町外のかたは1日2000円になります。詳細や予約は上野焼陶芸館までお問い合わせください。



夏休み特別企画 上野焼 作陶体験

土の感触を楽しみ、あなただけの器を創りませんか。

開催日時
8月 / 6日、7日、8日、20日、21日、22日、27日、28日、29日
各日11時～15時

体験時間
約60分 16名様/日 限定

予約
0947-28-5864(10時～16時 火曜休館)
※空きがあれば当日体験も可能

お渡し
約1か月後～着払い or 受取り

歴史や特徴が学べる 上野焼 PR動画

伝統の技など盛りだくさんの情報を約40分お届け。

400年以上の歴史に伝統、多彩な色や肌がある特徴など初めての方も学ぶことができます。映像で観る上野焼をぜひご覧ください。



固定資産税に係る 土地の評価方法が 変わりました

3年ごとに評価替えを行い
均衡化・適正化を図ります

【路線価の公開例】



○ 標準宅地 ← 主要な街路 ← その他の街路

税務課より 固定資産税の お知らせ

福 智町では令和3年度評価替えにあわせて、固定資産税にかかる土地の評価方法を見直し、従来の「状況類似地区方式」から「路線価方式」に変わりました。路線価とは、市街地などにおいて街路に付けられた価格のことで、その街路に接する標準的な宅地の1㎡当たりの価格です。路線価方式に変更することで、道路幅や道路種別(県道・町道等)など個別要因を今までよりきめ細かく固定資産税に反映することが可能となりました。

路線価方式とは

- 1 標準宅地についての地価公示価格や鑑定評価額等を基に主要な街路の路線価を求める。
- 2 主要な街路の路線価を基にして幅員や道路種別(県道・町道等)などに応じてその他の街路の路線価を求める。
- 3 宅地の価格は、接する路線の価格とし、宅地の状況(奥行、間口、形状など)に応じて評価額を補正する。

路線価等の公開

評価額の基礎となる路線価が全て公開されています。(福智町は8月頃公開予定)



ギャラリー陶企画展 ※8月1日現在

● お中元フェア
6月30日(日)～8月30日(日)

● 飯碗展
9月1日(日)～10月4日(日)

● 喜寿の作品展
10月6日(日)～10月11日(日)

● ランプシェード展
10月13日(日)～10月25日(日)

SNSはじめました



LINE 登録または Twitter および Facebook のフォローになった人限定で、上野焼記念品をプレゼント。アプリを起動して当館へお越し下さい。